

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	情報学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	本館PCルーム
担 当 教 員	BSC	実務経験と その関連資格				

《授業科目における学習内容》

この授業では、学生がコンピュータの基本操作に習熟することはもちろん、Officeソフトの利用だけにとどまらず、現代社会において必須となるデータ分析やAI技術の基礎を学ぶことを重視します。データの活用方法を学び、実践を通じて在学中および卒業後の情報処理スキル向上を図ります。

《成績評価の方法と基準》

出席(20%)、平常点(10%)、小テスト・課題点(70%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

「コンピュータキャリアトレーニング」※イーラーニングコンテンツ  
 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。

《授業外における学習方法》

自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。  
 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。

《履修に当たっての留意点》

出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 講座を受講する意義を理解し、IT・DXリテラシーを知り、情報を正しく活用できる	CCT入門 IT・DXリテラシー	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
	各コマにおける授業予定	CCT講座を受講する意義、IT・DXリテラシーを学ぶ、IT・DXリテラシー理解度テストの実施		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 Windowsの基本操作ができる	CCT入門 PC基本操作	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
	各コマにおける授業予定	マウス・タッチ패드操作/ファイルの管理/タイピングの基礎/キーボードの機能(ショートカット等)		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標 生成AIを正しく活用できる	CCT入門 生成AI入門	イーラーニングテキストで講義の内容を確認することができます。
	各コマにおける授業予定	プロンプト練習/使用する際の注意点/滋慶学園ガイドラインに沿ったAI活用/プロンプト活用/Canva登録		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標 クラウドの特徴を理解し、活用できる	クラウド活用	イーラーニングテキストで講義の内容を確認することができます。
	各コマにおける授業予定	Officeアプリ/OneDrive(ファイル共有)/メールマナー/Teams(共同編集)		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標 スライド作成の基本的な操作ができる	PowerPointダイジェスト	タイピング練習をすることで予習復習を行う。
	各コマにおける授業予定	プレゼンテーションの作成手順/テーマとバリエーション/スライド/プレースホルダー/画像の挿入/テキストボックス/図形作成/ワードアート/画面切り替え効果の設定/アニメーション効果/ノートの作成/スライドショー		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	Wordの機能を使用し、ポスターを作成することができる	母校実習ポスター作成	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Wordの基本操作の練習/オリジナルポスターの作成		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	文書作成の基本的な操作ができる1	Word書式設定	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Wordの概要/ページ設定/文字の修飾/インデント/箇条書きと段落番号/均等割付		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	文書作成の基本的な操作ができる2	Word図形・グラフ・表	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	画像/テキストボックス/表の作成/表の編集/ Excelグラフの貼り付け/図形		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	身近なAIを知り、適正かつ有効に活用できる	AIRテラシー	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	社会でのAI活用事例/AIでできること・できないこと/画像認識体験/AIの欠点や問題点/人とAIとの協働		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	企業や施設が求める表計算ソフトの基本操作ができる	Excel基礎1基本操作	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	オートフィル/数式の作成/SUM関数/グラフ作成/印刷		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	関数を駆使した資料を作成できる	Excel基礎2数式と関数基礎	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	割合を求める/相対参照と絶対参照/AVERAGE関数/COUNTIF関数/シートの操作		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	グラフを駆使した資料を作成できる	Excel基礎3グラフ基礎	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	目的に応じたグラフ作成/グラフのレイアウト/行や列の挿入/グラフの編集		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	データを読み解くための基本的な知識を身につけて、適正かつ有効に活用できる	データリテラシー	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	平均/中央値/最頻値/外れ値/欠損値/異常値/データの分類/相関/因果関係/疑似相関/不適切なグラフ表現		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excel基礎で習ったことを実践できる	Excel試験対策	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	Excel復習問題の実施		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・復習	まとめ・復習	イーラーニングテキストでこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	まとめ・復習の実施		